

令和2年度まちづくり市民活動補助金事業

団体名	ま いっか
事業名	シェアする暮らし方

◇部門

ファーストステップ部門

◇事業の目的

シェアカフェ h y a k k e i を軸に、公開講座やワークショップを開催し、移住者の活躍のモデルを作り、定着化を推進する。

◇事業の内容

① 衣・ワークショップ

草木染 開催日 (R2 6/25・7/17・8/28・9/12・10/8・11/18 計6回)

② 食・ワークショップ (コロナウイルス感染防止の為 中止)

③ 住・ワークショップ

1) 床の構造と畳交換 開催日 (R2 9/1・9/2)

2) 竹藪整備と竹材の活用 開催日 (R3 1/24・2/7・3/20)

④ 公開講座

開催日 (R2 12/12) zoom にて開催 参加者 150 名程度

◇事業の効果

① 衣・ワークショップ

身近な植物を使用し自然の色で染物を行うことにより、恵那エリアの自然が豊かであることを実感することができた。自然を活用して生活をするという暮らし方の一部を体験することができました。

② 食・ワークショップ 活動実績無し。

③ 住・ワークショップ

1) 築 40 年以経過している住宅の床構造を確認、なぜ畳が必要なのかと、機密性の良くない住宅の特性を確認することができた。気軽に移住できない一つの理由に住宅設備の問題があることが再認識できました。

2) 竹藪化し通行不能になっていた公共道の整備と竹の再利用を通し、移住した場合の地域とのかかわり方や、自ら町を維持していく体験を通し 移住後の生活の一部を疑似体験していただくことができました。竹の再利用は 竹ほうき作りを検討しています。

(ワークショップを 5 月頃開催の予定です)

④ 公開講座

恵那市明智町在住 恵那高校生の板倉氏を招きゼミを開催しました。

題名は「地方創成は必要なのか？」内容は、地域活性化、観光で良いのか？ 成長ありきで良いのか？ この内容について、地域活性化を目指し活動している方と、地元の 10 代の若者から見た 地域活性化の疑問について討論ができました。

(H y a k k e i の Facebook にて公開中)

衣・ワークショップは 昨年移住者の横井氏が行いました。

住・ワークショップの竹藪整備・竹再利用ワークショップは 今年 移住された金子氏が主に行いました。ワークショップには、地域住民の方にも参加をしていただき “移住者の活躍のモデルを作り、定着化を推進する” という目的に一定の成果を出すことができました。移住者と地域の方々が顔見知りになる関係が構築できたことが成果であり、シェアスペース h y a k k e i ならではの効果だと感じました。(本来ならば 畳交換をしたコミュニティエリアで 意見交換などを行い 次へと繋げていく予定でしたがコロナ過のためやむなく中止にしました)

◇活動経費

・事業総費	590,000 円
・補助金	400,000 円